

税 増 二 ば た

県内、賛否の声

政府が2010年度の税制改正で検討する方針を固めたたばこ税の増税。「がん患者を減らせる」

「業界はつぶれてしまう」。鳥取県内から賛否の声が上がり、関係者は議論の行方に注目している。禁煙者が増加する中、増税によって恒久的に税収を確保できるか疑問の声も聞かれた。

09.11.3.



煙量の減少を考えているといい、松田医師は「迷っている人の決断を後押しするだけでなく、喫煙者以外の人でも多くが自らの健康を見詰め直すきっかけになる」と効果に期待を寄せる。

「へいりよし喫煙問題研究会」の代表世話人を務める松田隆医師「きたという鳥取市内の倉吉市新町3丁目」は妊娠中の女性(33)は「国民の健康を政府が「増税によって喫煙者守るのは当たり前」の政が減るのはありがた策であり、世界的な流れ」と喜ぶ半面、政府「でもある」と増税をの方針については「ばらまき」の財源として歓迎する。

研究会によると、喫煙者の7割が禁煙か喫煙れば、税を上げる意味

「がん患者減る」 「業界つぶれる」



喫煙室でたばこを吸う職員。たばこ税の増税をめくり、愛煙家や葉タバコ農家から反発の声が上がっている。2日、鳥取県庁

がなくなり、政府は別の形で再び国民に負担を求めてくるだろう」と不安を口にする。一方、業界や喫煙者の反発は必至だ。「農家の抱い手不足が深刻化する中、別所さんは増税によって売り上げが大幅に減り、農家の会社員男性(62)は「ただでさえ景気悪化が増えると予測。農家が切れる」と懸念する。

「農家いじめのけしからん話」。そう憤る元葉タバコ農家の別所正徳さん(80)「北栄町弓原」は、消費量の減少が耕作面積の減反につながると懸念する。政府方針は1本当たり10円の引き上げ、30

禁煙者増加 税収確保に疑問も

政府が追い打ちをかけた。嗜好品を切り詰めることはできないので、引き上げと同額分の食費を減らして購入費を確保するしかない」と顔を曇らせた。